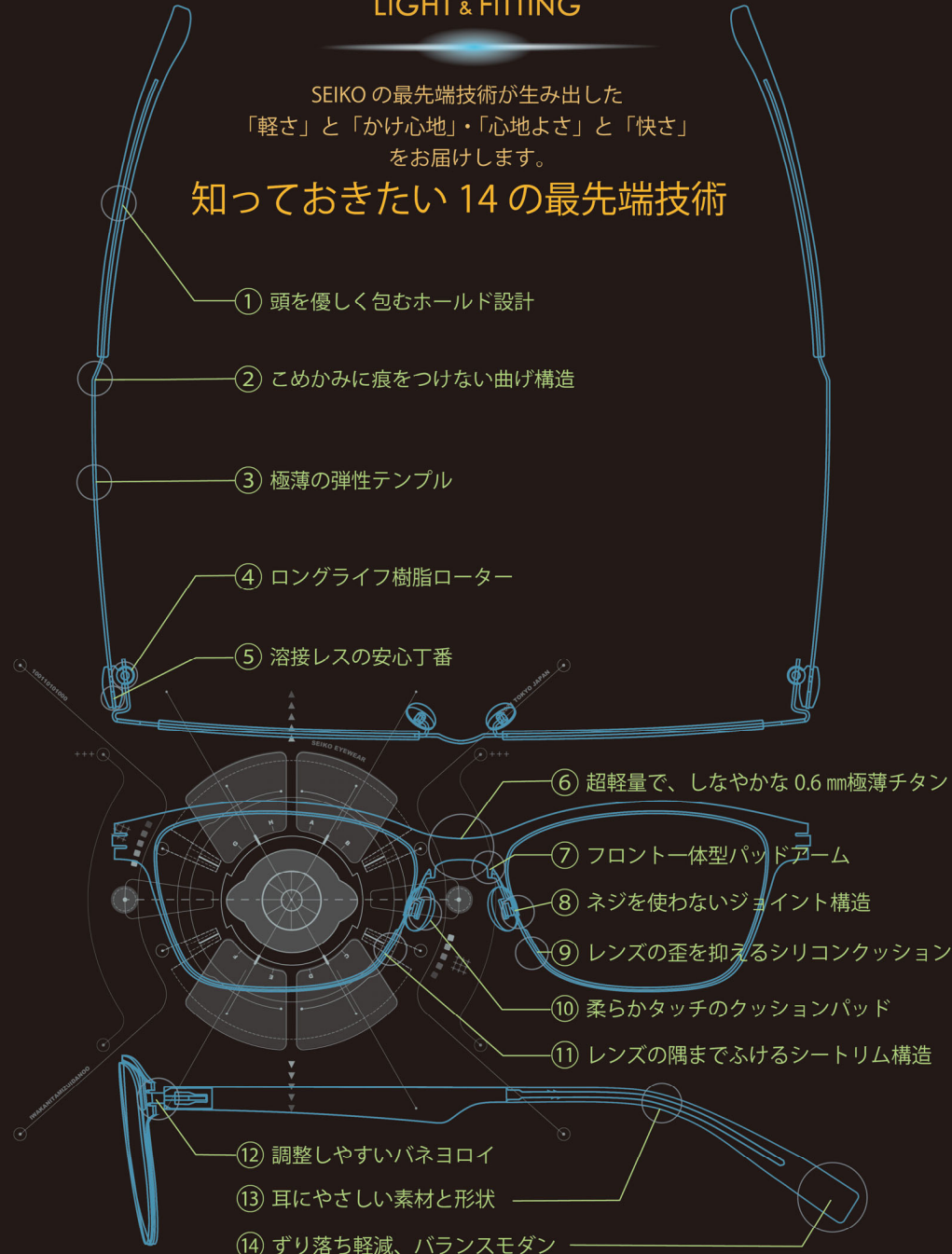


SEIKOの最先端技術が生み出した
「軽さ」と「かけ心地」・「心地よさ」と「快さ」
をお届けします。

知っておきたい14の最先端技術



① 頭を優しく包むホールド設計

フレーム全体の柔らかな“しなり”で、掛けた人に加わる側圧をバランスよく分散し、頭部全体をホールドします。軽やかでやさしい掛け心地。掛けた瞬間に違いがわかります。

② こめかみに痕をつけない曲げ構造

メガネをはずしたときにこめかみがへこんでいたり、メイクが落ちていたりするのは見た目にも気になります。この曲げはこれを低減させるための小さな工夫。耳の前方の敏感な部分への負担もやわらげます。

③ 極薄の弾性テンプル

テンプルは厚さ0.6mmのバネ性に富むβチタン。調整できるインサイドカーブでお客様の頭部を抱き込むようにやさしく包みます。

④ ロングライフ樹脂ローター

丁番の緩みの原因はネジ。すべり性のよい特殊樹脂を採用することで長期間スムーズな開閉を実現しました。2万回の開閉テストでも心地よいトルクを維持しました。

⑤ 溶接レスの安心丁番

メガネの破損の大半の原因は溶接（ロー付け）不良。日本古来の組木の技術を駆使することで、溶接箇所を取り去りました。メンテナンスフリー感覚の安心構造です。

⑥ 超軽量で、しなやかな0.6mm極薄チタン

フレーム全体を、厚さ0.6ミリのβチタンの板材から精密レーザー加工で切り出しました。不要なものは取り去るミニマムコンストラクションの発想で、フレーム全体で約6～8グラムという軽さ（レンズを除く）を実現しました。

⑦ フロント一体型パッドアーム

アジアフィットのパッドアーム。しっかり調整できるので、レンズを正しい位置にホールドします。

⑧ ネジを使わないジョイント構造

ロー付けもネジもありません。このためジョイントが緩んでレンズがガタつくことがありません。締め付けすぎることなく、レンズに負担をかけることもありません。

⑨ レンズの歪みを抑えるシリコンクッション

レンズ全周を特殊シリコンで包み込みます。レンズに加わる力を分散し歪みを抑えることで、レンズ性能を最大限に引き出します。

⑩ 柔らかタッチのクッションパッド

パッドにはソフトクッション機構を採用。素材は医療用としても採用されているエチレン系エラストマー。耐久性・耐薬品性に優れ、肌にもやさしいパッドです。

⑪ レンズの隅までふけるシートリム構造

レンズはいつも綺麗に拭きあげたいもの。ところがセルフレームやフチなしフレームは、リムやパーツが邪魔をして隅まで拭くことができません。SEIKO L&Fは薄いシートリム。レンズエッジまで綺麗に拭きあげることができます。

⑫ 調整しやすいバネヨロイ

見え方に大きな影響を与えるフロントの傾斜。適度なバネ性を保ちつつ、お客様の耳の高さやメガネの使用目的に合わせて、しっかり調整できるデザインです。経験豊かなメガネフィッターの調整で、レンズの性能を最高に引き出せます。

⑬ 耳にやさしい素材と形状

柔らかなエラストマー素材を採用。また丸みを持たせたアシンメトリーな断面形状で、皮膚との接触面積をキープしつつ、やさしいフィット感を実現しました。

⑭ ずり落ち軽減、バランスモダン

モダン（耳掛けパーツ）の後端にポリウムを持たせ、全体の重心を後方に持ってきました。これによりメガネの安定感が増し、前方へのズレ落ちを軽減します。